

# 平等寺だより

## 平和の巡拝

住職 丸子孝仁



皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年11月26日に「差別をなくす奈良県宗教者連帯会議」(奈宗連)40周年記念事業として「差別をなくす平和の巡拝」が開催され、東堂、母、副住職と共に参加しました。JR奈良駅に125人が集まり三条通りを東へ歩き、浄教寺、奈良基督教会、興福寺、春日大社、を参拝しました。そして東大寺で次のアピール文を採択し、県庁で解散しました。

〔アピール文〕

1979年、世界宗教者平和会議は、「全世界の宗教者が今日、人類の直面する課題に宗教的立場から積極的に関わろう」という宣言を採択しました。

私たち「差別をなくす奈良県宗教者連帯会議」(奈宗連)は、部落差別をはじめ一切の差別撤廃へとりくむことを決意し、結成して40年を迎えますが、さまざまに人権侵害や差別に涙する人は今なお絶えません。特に「最大の人権侵害」とされる戦争により、日々、罪のない人びとや子どもたちの命が傷つけられ、奪われており、一部の指導者は核兵器の使用までもちらつかせています。

人のいのちの重さははかることはできません。いのちは平等です。私たち宗教者は、いかなる戦争・暴力

発行

☎633-0001  
桜井市三輪37  
三輪山平等寺  
TEL/FAX  
0744-42-6033  
<https://www.byodoji.org>

## 生涯これ托鉢 東堂丸子孝法

「托鉢をしてでも本堂を再建してくれ」これが先代師匠の遺言でした。明治4年の廃仏毀釈で廃寺となつた三輪山平等寺の再建。夢のような話でありました。昭和62年、托鉢をはじめ16年目の夏、10万人の人々のお心を頂戴して本堂をはじめ諸堂が再建され落慶の日を迎えたのです。その様子をNHKで全国放送され、全国の皆様に報告ができました。

理のことばの中に、「我に子等あり我に財ありとおろかなる者は、こころなやむ。されど、われはすでに、われのものにあらず。何ぞ子等あらん。何ぞ財あらん」とあります。お釈迦様の真理のことばです。子等も財も私も私のもではないのです。

その前後から講演や説教の依頼がふえ年間120回全国を飛び回るようになりました。すべては縁によって導かれたこと、すべてが托鉢でありました。おかげさまで、平等寺の再建の後、大和郡山の本多公の菩提寺久松寺の再建、永平寺二祖孤雲懷奘禅師が修行しておられた多武峰妙楽寺本坊の再建をさせていただくことになりました。

「托鉢をしてでも本堂の再建を」と遺言された師匠の教えが、「われもまた、われのものにあらず」を学ばせて頂きました。何一つ自分のものはない。国と国の争いも、人と人の争いも、真実から目を背けた人間の愚かさが生み出すものです。一人一人の平和を祈る心が、世界の平和を築くのです。この覚悟をもって共に歩みたいと思います。

戦争や差別によって亡くなられた人びとを追悼し、人権が尊重される平和な社会の実現をめざして、宗教・宗派を超えて共に歩み、共に祈りましょう。 黙禱

広島、長崎、ひめゆりの塔、世界の戦争に思いをはせ、平和を願います。

合掌

『法句経』(ブツダの真



合掌

# 差別をなくす平和の巡拝



曹洞宗奈良県宗務所主  
催本山研修会が大本山總  
持寺で開催されました。  
県内39名の方が参加。



恩師の杉本哲也先生か  
ら畑中廣之先生作「ピー  
スマーク」の紙芝居を贈  
呈していただきました。



駒澤大学「世田谷拳禅  
会」の大先輩、日野義弥  
先生のもとで少林寺拳法  
の皆様と坐りました。



ハツキョの可愛い子ど  
もたちが坐禅体験に来て  
静かに坐りました。



曹洞宗寺族会が聖林寺  
で開催され、倉本明佳御  
住職様から大御輪寺から  
移されました十一面観音  
様のお話を頂戴しました。



作務の日で大掃除。お  
かげ様でお寺が一番きれ  
いな日になりました。



山本昌代様はじめ「ま  
ほろば芸術ラボ」の皆様  
が祈りのコンサートを開  
催してくださり、世界の  
平和と人びとの安寧を祈  
念していただきました。



護持会役員の皆様には  
いつも行事にご協力いた  
だき感謝しております。



# 採燈大護摩供と修験道 吉祥草寺 山田 哲寛

毎年四月の第一日曜日、平等寺様「花まつり会式」にて数名の行者と共に採燈大護摩供を担当させていただいております。お世話賜っております。皆様に感謝申し上げます。

桜と新緑に包まれての護摩供は行者一同が洗心の気持ちで、そして多くの方々と心一つにして厳修させていただきます。ただける貴重な法要であります。

吉祥草寺は平等寺様と同じく、時代の流れにより宗派を変革してきた寺院であります。お互いに近畿の修験道霊山、また山伏を統括する三十六大先達寺院であったという歴史があります。その寺院の中に、それらを統括する十二大先達寺院という存在してあります。平等寺様も十二正

大先達の寺院であったことから当時の隆盛と格式を窺い知ることが出来ます。

このような古からの縁を有する名刹で採燈大護摩供を厳修させていただけることは誠に行者名利に尽きるものであります。参加の行者方々にも歴史をお話ししてありますので喜びの行事として感じていただいております。そして平等寺ご住職をはじめ御家族皆様には行者一同いつも温かく迎え入れていただき感謝恐縮の中で本尊諸尊への報恩護摩を修法させて頂いております。

修法してまいります採燈大護摩供とは修験道の秘法護摩供の位置にありまして「佛の智火」すなわちお釈迦さまの御心を汲んだ不動明王の火焰を表しており、祈りを込めた炎の中に薪(たきぎ) (煩惱) を投入し人々の六根清浄(日々の反

省と眼耳鼻舌心意の清浄)を願う儀式であります。さて現在の吉祥草寺はと聖護院門跡「本山(ほんざん)修験宗(しゅげんしゅう) (天台系本山派) に属しています。当寺は修験道の開祖であります役行者が御誕

山伏であると胸をはって言えるようになりました。

山伏の姿をした人は見たことあるけど修験道って何をしてる者かわからないという方も多いと思います。

山伏問答という儀式の文章の中に「山伏とは真如法性の山に入り、無明煩惱の敵を降伏するの義、修験道とは修行を積みその験徳を顕す道にて候。」という文章が出て参ります。真如法性の山に入りとは「真実不変の本質」佛の悟り「そのものである山中に入り、無明煩惱の敵「心の根底にある苦しみの原因を取り除き」、修行を積みみとは「山中を無心で歩き」、験徳を顕す道「なぜ生きていくのかを知る道」となります。



生されたお寺ではありませんが、明治政府発布の神仏分離令、廃仏毀釈令、修験道廃止令により一時期は修験道以外の宗派に属しており、戦後の信教の自由という憲法制定により再び修験道寺院として日の目を見られるようになり、自分は修験の

て此の世に存在しているということを明らかにすることが開祖・役行者が遺された修験の役割ではないかと感じております。そしてそれは平等寺様の禅と我々の修験という宗派の違いはありますが「目指し方」の違いだけで着地点は同じであると考えています。なぜならば修験は「歩く禅」であり役行者が法華経を信奉し、お釈迦様の御心こそが救済にもっとも適している手段と捉えて、葛城山中の自然(神仏体内)の中に萬民救済・萬民共生を願う法華経を二十八ヶ所に埋納されながら修行されたと伝わります。ようするに修験者も仏者としてお釈迦様の御心を大切に考えております。

したがって修験道は修行(行うこと)によって(生きる本当の意味をあきらかにする)道(方法)だと捉えています。そして山で(修行で)得た智慧を多くの人達に伝えること。生きて行くことの大切さや、全ての命は生まれるべくし

お祈り申し上げます。合掌

お祈り申し上げます。

お祈り申し上げます。

お祈り申し上げます。

# 「縁」を大切に 副住職 丸子 竜輝

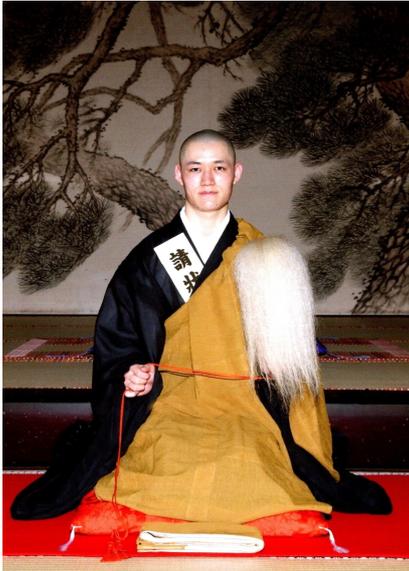
2月18日に大本山永平寺から帰山してから、毎朝6時からの朝課や日曜日の坐禅会等、日々の行事を東堂と住職と共に勤めています。

7月末から8月には大本山永平寺と大本山總持寺で一日住職を務めさせていただき瑞世拝登をしました。

瑞世拝登の際に、本山の衆僧を統率する役である監院老師から「自坊に戻ってからの本堂の修行であり決して行を怠ることなかれ。」という大切なお話をいただきました。

檀信徒の皆様をはじめ、ご先祖様や多くの人の支えによって今の私があります。私は現在、平等寺の副住職の役目を勤めさせていただいております。今までの人生の中で経験してきたことは一つ一つ大切なものであり、決して私一人ではなし得なかつたものばかりです。

お釈迦様は「縁」によって人は生かされています。



れていると説いております。縁というものには人々の繋がりでだけではなく、私たちが生かしている食物や動物そして自然も繋がっています。全てのことに対して感謝をして縁の繋がりが、大切さを実感して伝え続けていくことが何よりも大切なことだと私は思います。

昨年は例年に比べて猛暑日が続きましたが本年も昨年以上に暑くなるかもしれません。くれぐれもお気をつけてください。

今後皆様と一緒に良き一年になりますように皆様を支え、支えられながら精進して参ります。

合掌

【三輪山平等寺護持会お知らせ】  
本堂と庫裏をつなぐ屋根の雨水により庫裏が傷んでいましたので撤去しました。赤門南側の大木の根が石垣を崩しましたので伐採していただきました。ありがとうございます。

## 年間行事予定

- 【一月】一〜三日 修正会  
十二日 十八時役員会  
成人の日十四時初護摩会
- 【二月】三日 星祭会  
十五日 六時 涅槃会
- 【三月】春分の日 春彼岸会
- 【四月】六日 十時 大護摩会  
花祭り会・ちごおねり
- 【五月】十八日九時 作務の日
- 【七月】上旬 本山研修会  
下旬 子供坐禅の集い
- 【八月】一日 最勝会・施食会  
二十三日十四時 地藏会
- 【九月】秋分の日 秋彼岸会
- 【十月】下旬 県梅花大会
- 【十二月】一〜八日 朝六時  
歳末托鉢行・摂心会・成道会  
二十一日十四時終護摩会  
三十一日 除夜の鐘

## 月間行事予定

- 一日・十五日六時 祝祷朝課
- 十八日十四時(行事別)梅花講
- 二十四日十四時 水子供養
- 二十八日十四時 護摩会
- (一・四・十二月は右記参照)
- 日曜日六時半 坐禅会

## ハートが行く⑥

ハートは木の根や草も何でもおもちゃにして毎日元気に遊んでいます。



YOUTUBE開設

チャンネルです



## 案内

お寺のホームページです



## 三輪山裏



昨年は瑩山禅師七百回大遠忌でもあり大本山總持寺へ参拝いたしました。今年も猛暑が続きますので、くれぐれもご自愛くださいませ。合掌